

令和4年度 事業報告書

特定非営利活動法人ことばの道案内

1 事業の成果

今年度は東京 23 区内に加えて宮城県や愛知県等でも活動を展開し、言葉による道案内（「ことばの地図」）の公開ルート数が前年度から 171 ルート増の 3,004 件となった。東京都台東区、新宿区、豊島区、千代田区、墨田区から委託業務を受注し、区内の「ことばの地図」の新規作成とメンテナンスを実施した。また、民間企業の助成金が採択され、愛知県の大学病院等への「ことばの地図」を新たに作成した。さらに、宮城県の補助事業に採択され、仙台市内の各種施設までの「ことばの地図」も新たに作成した。

これらに加えて、東京地下鉄株式会社と共同で東西線と銀座線の調査を実施し、「ことばでわかる駅情報」を作成・公開した。さらに、前年度に引き続き、東京都北区（JR 浮間船渡駅周辺）において点字ブロック点検・検証およびデータベース制作事業を実施した。

他にも、インターンシップの受入れや企業ボランティアの参加を推進し、弊団体の活動の理解と社会貢献に寄与した。その他、弊団体が管理する各種ツールや「ことばの地図」のスマートフォンアプリについて、改良・修繕・更新を実施した。また、弊団体のホームページを大幅にリニューアルし、公開した。加えて、「ことばの地図」や点字ブロックの点検・検証における現地調査活動時にモバイル端末の利用促進を図り、活動の効率化を推進した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【4,392】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
言葉による道案内（「ことばの道案内」）の制作事業	(1) 各種施設への「ことばの道案内」の制作・メンテナンス (2) 駅構内の道案内および駅施設の情報制作	随時	(1) 東京都台東区、新宿区、豊島区、千代田区、墨田区、宮城県愛知県等 (2) 東京メトロ東西線・銀座線	延べ300人	全国の視覚しょうがい者	不特定多数	4,125
点字ブロック他、歩行支援のための敷設物等に関する点検・検証等と敷設提案事業	点字ブロックの点検・検証とデータベース制作	随時	東京都北区	延べ30人	全国の視覚しょうがい者	不特定多数	267

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

特になし